

どこまでも行こう

ど こ ま て と ゆ こ

う み ち は き び し く と

も く ち ふ え を ふ き

は が ら は し っ て

ゆ こ う と こ

どこまでもゆこう

1. どこまでもゆこう 道はきびしくとも
口笛を吹きながら 走ってゆこう
2. どこまでもゆこう 道はけわしくとも
幸せが待っている あの空の向うに
3. どこまでもゆこう 道は苦しくとも
君の面影胸に 風をうけてゆこう
4. どこまでもゆこう 道がなくなっても
新しい道がある この丘の向うに
5. どこまでもゆこう 道は淋しくとも
あの星をみつめながら 迷わずにゆこう
6. どこまでもゆこう 道はけわしくとも
幸せが待っている あの雲の向うに
..... 幸せが待っている
あの雲の向うに
あの雲の向うに

別紙2

記念樹

D / $\frac{G}{A}$ D $\frac{G}{D}$ D / $\frac{G}{A}$ D / $\frac{C}{D}$ D₂

こゝろ いのすみに みんなでうえたまねん (C) いつ

G / $\frac{F\#}{A\#}$ D $\frac{B\#}{A\#}$ B_m (E₂) / $\frac{G\#}{A\#}$ G / $\frac{G\#}{A\#}$ G / $\frac{G}{A}$ D / $\frac{G}{A}$ (A₂)

の ひにかとおいとこで おもひ だす だ 3つ それほ た ぶ

D / $\frac{D\#}{C\#}$ D₂ / $\frac{G}{B}$ / $\frac{A}{G}$ F_m / $\frac{C}{D}$ D₂ G / $\frac{A}{G}$ F_m / $\frac{B}{A}$ B_m B_b

ん うら いとまなきた いと き みでや うの ほっほ かきに ぐれ

D / $\frac{G}{A}$ / $\frac{G}{A}$ D $\frac{G\#}{A\#}$ D /

3 さ ね ん (C)

(1) 校庭の隅に

みんなで植えた記念樹
いつの日にか遠いところで
思い出さだろう
それは多分
つらい時 泣きたい時
緑色の葉っぱ風に
揺れる記念樹

(2) 忘れないずっと

みんな子供だったこと
スコップうまく使えずに
顔見合わせた
大人になっても
心から笑いたいね
あの日空の雲は夢の
かたち描いた

(3) 夕暮れの校舎

みんなで植えた記念樹
ニワトリが朝と間違え
鳴いていたっけ
振り返るのは
つらい時 泣きたい時
枝は空をめざし 風に
揺れる記念樹
揺れる記念樹

別紙 3

① ②

どこまでも行こう

記念樹

1 2 3 4

③ ④ ⑤

5 6 7 8 9

⑥ ⑦

10 11 12 13 14

⑧

15 16 17

This musical score is written for two staves, likely representing a piano accompaniment. The top staff is labeled 'どこまでも行こう' and the bottom staff is labeled '記念樹'. The music is in 4/4 time and consists of 17 measures. The score is divided into four systems. The first system contains measures 1-4, the second contains measures 5-9, the third contains measures 10-14, and the fourth contains measures 15-17. Measures 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, and 15 are marked with circled numbers ① through ⑧ respectively. Vertical dashed lines are placed between measures 3 and 4, 5 and 6, 9 and 10, and 14 and 15. The melody in the top staff features eighth and quarter notes, while the bottom staff provides a harmonic accompaniment with eighth and quarter notes. The key signature has one sharp (F#).

放 送 に よ る 使 用 料 相 当 額 一 覧 表

テレビ局名		
1回あたりの単価	原告会社の主張	当裁判所の判断
(株)フジテレビジョン 第1類 8000円	×33回=26万4000円 (なお、平成13年11月までの分は、 服部に請求したため、被告に対しては 請求しない。)	×33回=26万4000円
関西テレビ放送(株) 第2類 5600円	×17回=9万5200円 (なお、平成13年11月までの分は、 服部に請求したため、被告に対しては 請求しない。)	×17回=9万5200円
東海テレビ放送(株) 第3類 4800円	×56回=26万8800円	×62回=29万7600円
北海道文化放送(株) 第4類 3200円	×138回=44万1600円	×149回=47万6800円
(株)テレビ西日本 3200円	×107回=34万2400円	×107回=34万2400円
(株)仙台放送 第5類 2400円	×67回=16万0800円	×67回=16万0800円
福島テレビ(株) 2400円	×0回=0円	×0回=0円
(株)新潟総合テレビ 2400円	×75回=18万円	×86回=20万6400円
(株)テレビ静岡 2400円	×75回=18万円	×86回=20万6400円
(株)青森テレビ 第6類 2000円	×105回=21万円	×111回=22万2000円
秋田テレビ(株) 2000円	×63回=12万6000円	×63回=12万6000円
(株)岩手めんこいテレビ 2000円	×119回=23万8000円	×130回=26万円
(株)さくらんぼテレビ ジョン 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
(株)長野放送 2000円	×17回=3万4000円	×23回=4万6000円
(株)山梨放送 2000円	×24回=4万8000円	×24回=4万8000円

石川テレビ放送(株) 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
福井テレビジョン放送(株) 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
富山テレビ放送(株) 2000円	×0回=0円	×0回=0円
(株)テレビ新広島 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
山陰中央テレビジョン放送(株) 2000円	×0回=0円	×0回=0円
岡山放送(株) 2000円	×55回=11万円	×66回=13万2000円
テレビ山口(株) 2000円	×17回=3万4000円	×23回=4万6000円
愛媛放送(株) 2000円	×50回=10万円	×61回=12万2000円
高知さんさんテレビ(株) 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
(株)テレビ高知 2000円	×0回=0円	×0回=0円
(株)サガテレビ 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
(株)テレビ長崎 2000円	×40回=8万円	×40回=8万円
(株)テレビ宮崎 2000円	×0回=0円	×0回=0円
(株)テレビ熊本 2000円	×74回=14万8000円	×85回=17万円
(株)テレビ大分 2000円	×0回=0円	×0回=0円
鹿児島テレビ放送(株) 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
沖縄テレビ放送(株) 2000円	×138回=27万6000円	×149回=29万8000円
合 計	492万1600円	568万5600円